

瀬田川プランクトン調査結果速報

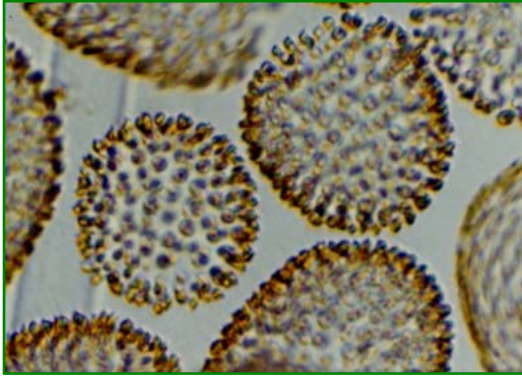
～第42報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当

平成21年1月19日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、今週も先週に引き続き黄色鞭毛藻に属するウログレナが優占し、次いでホンガタケイソウやササノハケイソウ、ヒメマルケイソウ等の珪藻に属する種類が多く計数され、増加傾向にある。動物プランクトンも先週に引き続き、ハネウデワムシ(410個体/L)やドロワムシ(140個体/L)が多く計数され優占種となった。これら動物プランクトンも先週より増加傾向にある。ピコ植物プランクトンは、黄橙色のものが2,900細胞/ml計数され、深赤色のものは計数されなかった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	410

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	140

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当

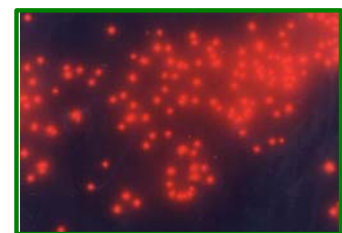
(2) 植物プランクトン

平成21年1月19日

第42報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	数 体積	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	10		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1500	◎	○
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	360		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	30		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	1000	○	
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	120		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	780		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	160		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	10		
(緑) <i>Staurastrum arctiscon</i>	10		◎
(藍) 藍藻綱	10	0.2	0.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1500	33.9	14.7
(珪) 珪藻綱	2450	55.4	31.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	6.3	7.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	180	4.1	46.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	4420	総体積	2.62E+06
種 類 数	15	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	1月19日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	2,900

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが $0.2\sim 2\mu\text{m}$ ($1\mu\text{ml}$ は 1mm の $1,000$ 分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。